

田村 ゆうすけ 37歳

ともに生きる 新子



神奈川県議会議員 瀬谷区選出

田村ゆうすけ

検索



瀬谷駅南口再開発の進捗状況

皆様ご存知であるかと思いますが、瀬谷駅南口が大きく変わります。右記載の完成想定図のように、環状4号線までの範囲で再開発が計画されています。完成時期について先日、横浜市から現状の説明がありましたのでご報告させていただきます。今年9月には対象となるエリアの明け渡しが完了し、10月から解体工事が着工される予定です。解体工事は来年5月までとなり6月には、いよいよ施設建設工事が始まります。完成予定は、2021年(平成33年)5月です。そして、7月に施設オープンとなります。施設の1階・2階部分は買い物などができるスーパーなどを含む商業施設となります。また2階・3階には今まで瀬谷区には無かった「区民文化センター」が設置されます。4階以上は居住階となります。



H30年度 (2018年度)			H31年度 (2019年度)					H32年度 (2020年度)		H33年度 (2021年度)								
7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1
● 権利変換計画認可	● 権利変換期日	● 明け渡日	● 解体工事着工	※ 工程精査中					● 施設建築物工事着工	※ 工程精査中		● 施設建築物工事竣工	● 施設オープン					

行政として大きく関与できるのが区民文化センターですが、この文化センター設置にあたり区民の皆様のご意見をなるべく反映したいと考えています。すでに、障がい者団体の方々から、障がい者用トイレ(多目的トイレ)のあり方について、ご要望があり対応をさせていただきました。横浜市内の多目的トイレには介護ベッドが設置されていますが、現在はどの

トイレもそのベッドのサイズが140cm以下であり、大人が利用するには大変難しいサイズであることから、大人も利用できるものを設置してもらいたいという要望でした。障がいを持たれた方々は、必ずどこに、どのようなトイレがあるのかを把握した上で外出することから、県でもバリアフリー条例に基づき、「みんなのトイレ」というものが位置づけられ、そういったトイレがどこにあるのか分かるマップの作成も昨年おこないました。こうした事が今後の超高齢化

社会にも対応できるものとなり、区民文化センターに一人でも多くの人に足を運んで頂けることとなると
思います。

大型ベッド使用者配慮器具

CHECK
おむつ交換や衣服の着脱のために大型ベッドを設置します。

自立の要いす使用者の自己脱履や介助付きの要いす使用者のおむつ交換、衣服の着脱などのためには大人が横になれる場所が必要です。多機能トイレの中に大型ベッドの設置が進めば、障がい者や高齢者の外出の機会が広がります。また、大型ベッドは、乳幼児のおむつ交換にも便利です。乳幼児連れの利用が想定される場所に設置する場合は、同じ空間内にベビーチェアの設置をおすすめします。

※「高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準(2016年度改正版)」では、「要いす使用者用脱履や多機能トイレを設置する場合には、そのクワを1つ以上は大型ベッド併用とする」と記載されています。

<ご注意>
必ず、商品説明の「落下警告ラベル」を使用の方が見やすい所に貼ってください。

長辺方向収納タイプ(収納式多目的シート)

長辺方向収納タイプ(リブリック開閉りたためシート)



三ツ境駅前商店街 かながわ商店街大賞・特別賞受賞

今年1月9日、神奈川県と県内の経済団体からなる「かながわ商店街大賞実行委員会」による第6回かながわ商店街大賞・特別賞を三ツ境駅前商店街が受賞しました。特別賞受賞にあたっては昨年、県の商店街振興の補助金を使って、白姫神社の繭玉をイメージしたゆるキャラ、「ミックル」を誕生させ、商店街の賑わいに貢献したこと、さらにご協力頂ける店舗さんに日本初の商店街の取り組みとして「筆談マーク」を設置し聴覚障がい者の方々の方が商店街を利用しやすい環境の整備の功績が認められた結果となりました。



特別賞 (団体)

団体名	三ツ境駅前商店会：横浜市瀬谷区
取組み・成果	《聴覚障害のある方に向けた先進的な取り組み》 相鉄線三ツ境駅南側に隣接する商店街で、地域の白姫神社と連携した繭玉モチーフのグッズの開発・販売や、マスコットキャラクター「ミックル」を使った商店街のPR活動などを行っている。 特に、聴覚障害のある方にやさしい街として本年度から「ミックルUD」プロジェクトを始めた。筆談OKのステッカーをつくり31店舗で実施。聴覚障害のある方に対する接客マニュアルを整備するという先進的な取り組みを行っている。

現在も頻繁に手話教室

を開催するなど共生社会の実現に向けた

取り組みはととても素晴らしいものです。

さらに瀬谷区内の

タクシー会社さん

も、



このことに賛同を頂き「瀬谷交通さん・三ツ境交通さん」のタクシーにも「筆談マーク」が設置されました。

瀬谷区聴覚障がい者協会の顧問を務めさせて頂いている私としても大変にありがたい取り組みであり、こういった

取り組みを瀬谷区内だけではなく全国的に広めて行き、さらなる共生社会の実現に向けて力を入れたいと思っています。

子育て支援 新生児聴覚検査補助制度 今年7月から開始 (横浜市)

平成19年までは国の助成金があり新生児聴覚検査を無料で行えていましたが、現在は助成制度が無く保護者の選択に任せている状態です。料金は6000円～1万円程度であり、7割近くの方は検査を行うが3割の方が受診されない統計が出ています。約1000人に1人は先天性の難聴を持っていると言われています。平成28年の数字で言うと県内出生数が70,648人です。どれ程の方が検査を受けていてどれ程の子供が先天性の難聴児として生まれてくるのかは、大体予想することができます。昨年、新生児聴覚検査実施に関しては県行政が所管ではありませんが、横浜市に新生児聴覚検査の補助金と検査実施してもらうよう再三指摘をして来ましたが、その結果、1億900万円という予算の確保が可能となりました。保護者へのほんの少しの負担はありますが、本年7月から横浜市は検査に対する補助制度を導入することが決まりました。検査の結果、弱難聴や中等度難聴に対しては、昨年4月から補聴器購入費補助制度を県に設置をしてもらいましたので一定の体制は整えられたのかと思います。



□■第3回県政報告会開催のお知らせ■□入場無料 ※誰でもご参加いただけます

日時 4月22日 日曜日 14時～15時 ※県政報告会では手話通訳者を配置しています

場所 JA瀬谷駅前支店2F(瀬谷駅南口徒歩2分)

内容 瀬谷区に対する県の取り組み・これからの瀬谷区(防災・福祉・子育て)

神奈川県議会議員 (瀬谷区選出)

田村 ゆうすけ

- 自由民主党政務調査会 副会長
- 防災警察常任委員会 委員

・瀬谷区阿久和西2丁目在住

・習い事 手話教室

・4人男兄弟の長男

・家族は妻、子供3人(男1人・女2人)

・1980年11月29日宮城県仙台市生まれ

・総務副大臣 さかい学の秘書を経て

2015年4月 神奈川県議選に初当選



<http://tamura-y.com/>

田村ゆうすけ

で検索

